望翠樓ホテル小集

バルコンにのぼりて見れば冬の海くろぐろと
洲のあらはれにけり

洋館の煉瓦のかげに八つ手の花咲きこぼれつ
つ冬の日はひそか

(242)

日並べてあたゝかけれや赤つばき師走の苑に
咲き匂ふ見ゆ

くろぐろと干潟ぞならぶ冬の海千蕪はるがき
竹の門は句に

(243)

猫柳ばかり活けたるテーブルがすらりと並ぶ
寒き食堂

伯を首め、その製版に妙技を逞した中澤光利畫伯、山田篤眞製版所主、藤田活版所主、柴橋製本所主等に深厚の謝意を表したい。

私は大正十四年秋に妻乃姪を迎へて、現在四歳と當歳との女兒二名に、母を加へる五人家族である。先代の創業以來三十年間未曾有のどん底不景氣の歳晩に、三十餘名の店員職工傭僕等の生活を死守しつつ、日夜慇懃苦闘を續けてゐる。

「霸王樹」の同人社友諸九姉は勿論、あまねく江湖の同好者各位にして著し著者の苦衷を解し給はば、あはれあはれ捨萬圓は愚か五圓拾圓は貸し給はずとも、仰ぎ願はくば著者のために「仙人掌」の一本を求め給はんことを。

昭和五年師走吉日

著者しるす

(11)

サボテン
集 歌
掌 人 仙

版 権 所 有

<p>著 者</p> <p>富山市木町二十番地 藻 谷 六 郎</p>	<p>發行者</p> <p>東京府荏原町新井宿三九四番地 橋 田 丑 吾</p>	<p>印刷者</p> <p>富山市織籠町七番地 藤 田 政 次 郎</p>	<p>印刷所</p> <p>富山市織籠町七番地 藤 田 印 刷 所</p>
---	--	---	---

(定價壹圓九拾錢)

昭和五年十二月二十日印刷
昭和六年一月一日發行

發行所 東京市外大森 八景坂三九四番
霸王樹社 振替東京五六五一九番

著者宛直接申込の向きは振替金遣五五五番(藻谷ちよ)利用を乞ふ

藻谷, 六郎,